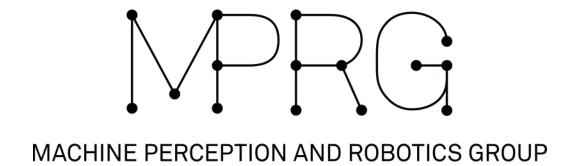
第19回ディスカッション

## バッチサイズ

ER20038 小林亮太

担当:鈴木雅★,福井,張

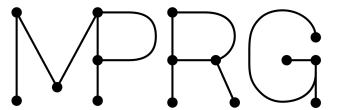


# はじめに

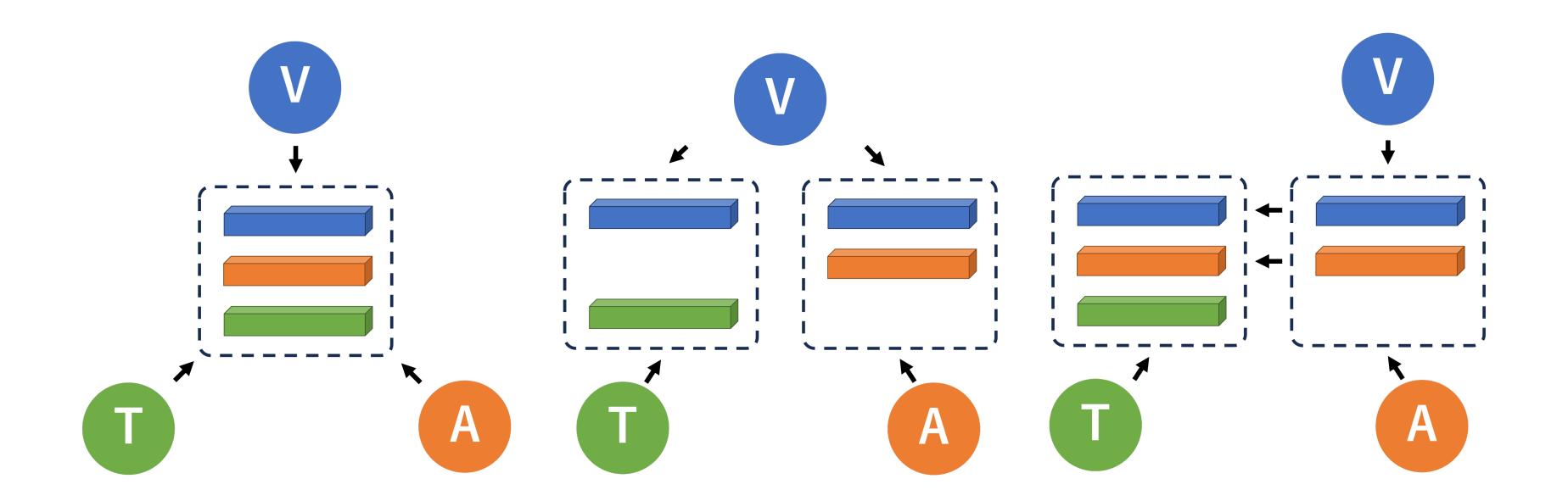


- 研究テーマ
- ・実験条件について
- 条件batch\_size=128, n\_pair=32の場合
- 実験状況

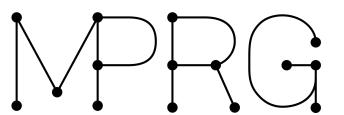
### 研究テーマ



- 3モーダル(ビデオ, オーディオ, テキスト)のマルチモーダル自己教師あり学習
- テキストに比べビデオやオーディオにはノイズが多く存在
  - 各モーダルの組み合わせでノイズを抽出せずに学習ができる可能性
    - 近づけるモーダルの組み合わせによる学習効果への影響について調査

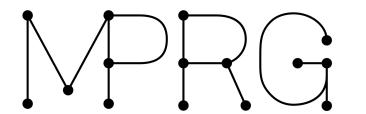


## 実験条件について



- 実験条件を論文と揃える目的
  - 論文内の表記を参照しバッチサイズを4096に設定
    - メモリ不足エラーが出現
    - ・バッチサイズ2048、1024、512、256でもエラーが出現
    - ・ 解決が難航
  - 論文内の表記は直接的なバッチサイズではない値
    - Batch\_size×n\_pairの値
      - Batch\_size : 動画の数
      - N\_pair : 動画1本あたりのclip数
      - それぞれ初期値はbatch\_size=128, n\_pair=32
      - 2つの積は4096

# 条件batch\_size=128, n\_pair=32の場合



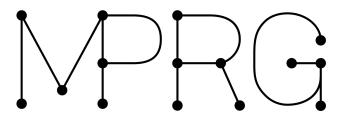
- A 100×4で0番の使用量が13~15GB
  - 著者の環境のV 100が16GBモデルだとしても動作可能
  - 情報が合致
- 学習時間
  - 著者環境で2日程度
    - CPU:80スレッド
    - Num\_worker: 74
  - 自分の環境では1週間程度
    - CPU: 32スレッド
    - Num\_worker : 4
      - 大きくしすぎるとRAMが不足
  - CPU性能およびRAM搭載量の差やHDDの速度が原因の可能性

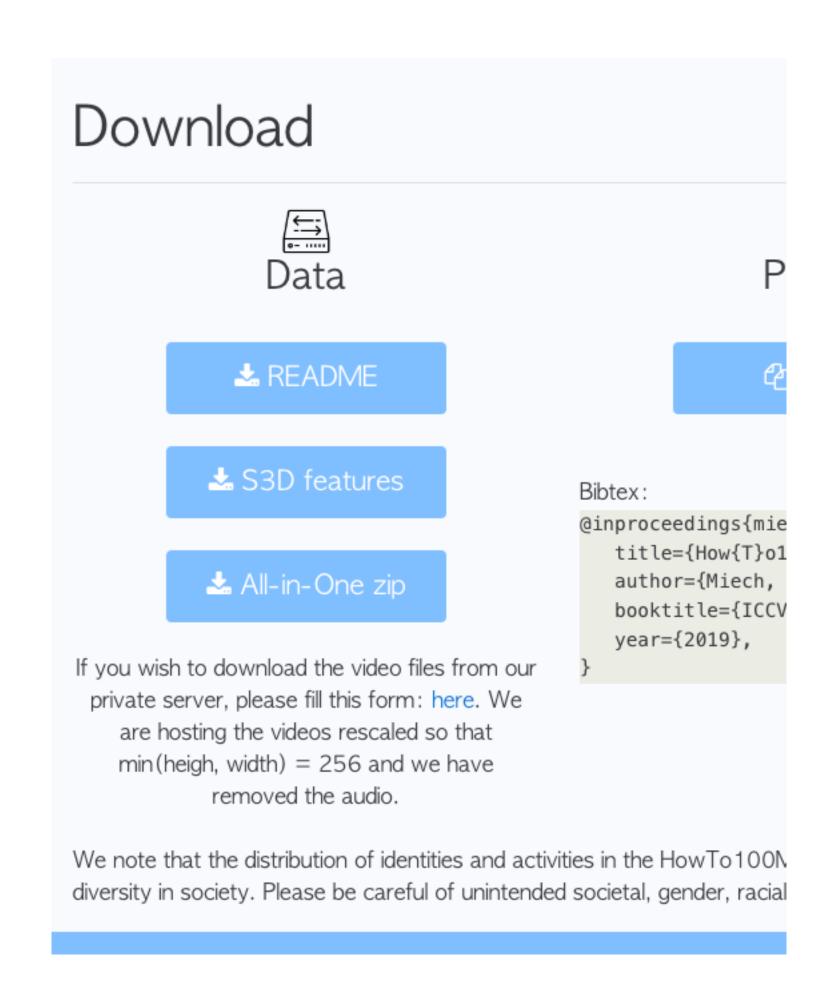
## 実験状況

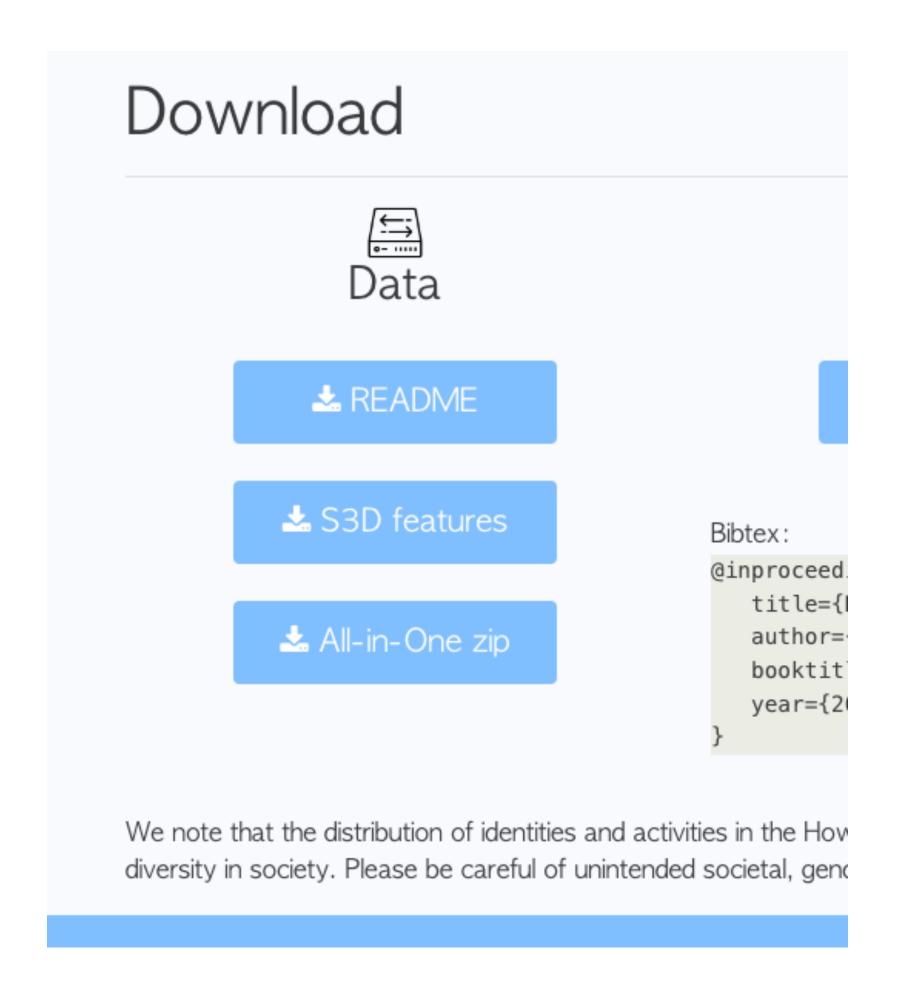


- デフォルトの条件のまま実行
  - Num\_workerの値のみ変更
- CoreDumpで停止→解決
  - Docker runのオプションipc hostが原因
  - Shm-sizeオプションのコンテナでは動作
- CUDAのエラーで停止
  - RuntimeError: CUDA error: CUBLAS\_STATUS\_EXECUTION\_FAILED
  - いつものOutOfMemoryとは別物
    - CUDA error: CUBLAS\_STATUS\_EXECUTION\_FAILED
  - 原因を調査中
    - Vfs\_fuse.c:281 UCX ERROR inotify\_add\_watch(/tmp) failed: No space left on deviceが原因?
    - Epoch11時点での停止のため再現に時間が必要
      - 原因の迅速な特定が困難

#### HowTo100M







# おわりに



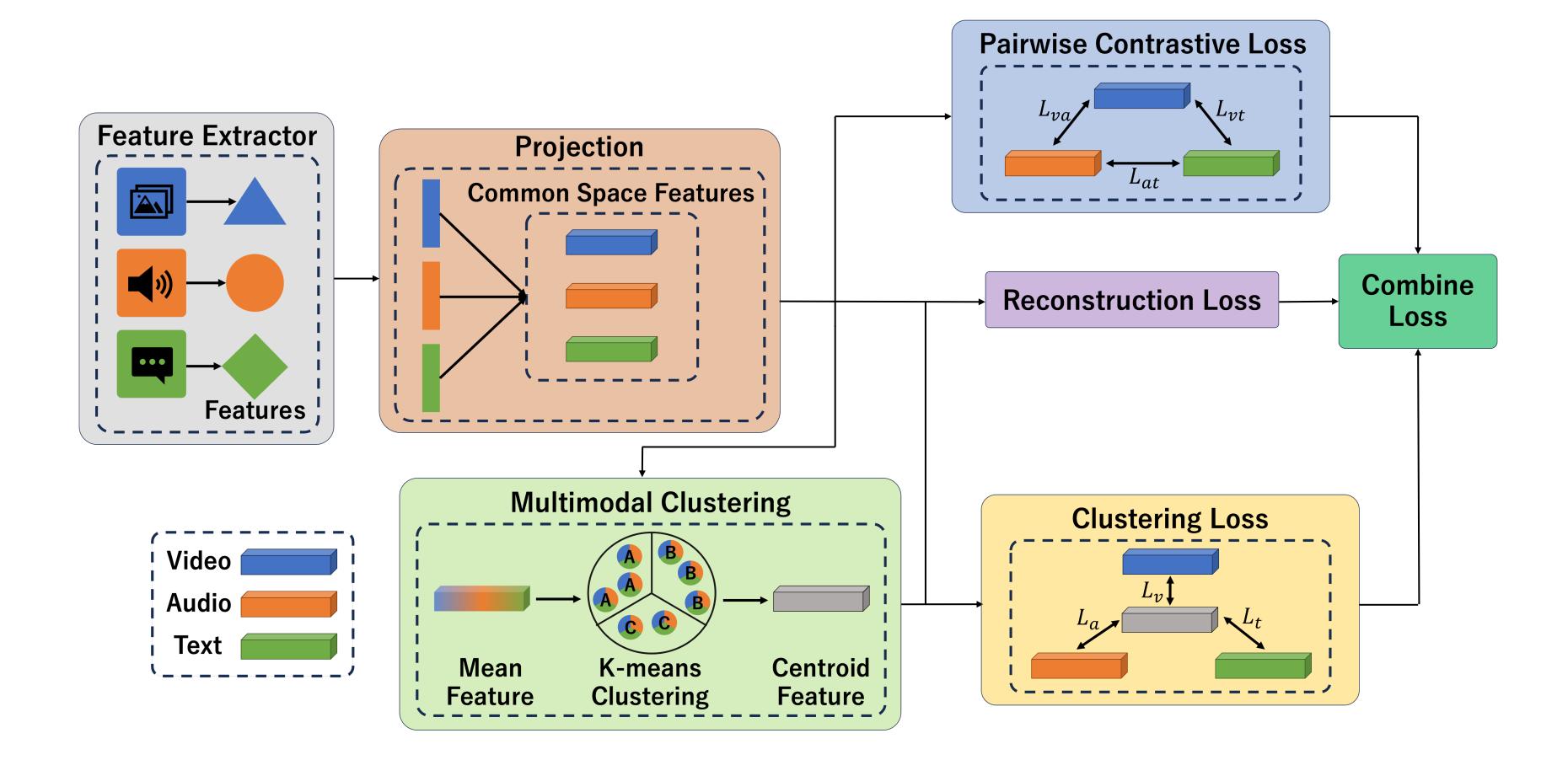
• 実験 : エラー調査中

- 今後の予定:
  - 中中間の資料作成
  - 他の環境での実験
    - 7TBのデータの置き場がなく断念

#### Multimodal Clustering Network (MCN) [B. Chen+, ICCV'21]



- ラベル付けされていないナレーション付きビデオから学習
  - テキストからビデオの検索, 時系列行動検出が可能
- テキスト, オーディオ, ビデオの3つのモーダルを使用





- 評価タスク:テキストからビデオの検索 on YouCook2
  - R@k
    - R: Recall (再現率)
    - K: 各クエリの上位k個の予測のうちの正解数の総正解数に対する割合
- 平均を取る処理の追加で精度向上
- バッチサイズを論文の条件と揃えることが必要

	R@1	R@5	R@10
論文	18.1	35.5	45.2
前々回の実験	1.70	7.00	11.6
前回の実験	5.29	13.2	18.4